

## 研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-710	A-770	24-056	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
Effect of alcohol consumption on risk of hypertension based on alcohol-related facial flushing response: From the health examinees study アルコール関連顔面紅潮反応に基づく飲酒の高血圧リスクへの影響：健康調査から			
執筆者			
Cho SY, Jeong J, Shin S.			
掲載誌			
Alcohol. 2024 Dec;121:133-139. doi: 10.1016/j.alcohol.2024.02.010.			
キーワード			PMID
飲酒、コホート研究、顔面紅潮、高血圧、健康診断受診者研究 (HEXA 研究)、韓国ゲノム疫学研究 (KoGES)			38432421
要旨			
<p><b>背景：</b>韓国では、多くの人が危険な飲酒行動をとっており、飲酒は公衆衛生上の重要な問題である。本研究は、大規模前向きコホート研究を用いて、韓国の成人における飲酒後の顔面紅潮反応と高血圧の進行との関連を解析することを目的としている。</p> <p><b>方法：</b>韓国人の成人（40歳以上）を対象に主要な慢性疾患の疫学および遺伝的特徴を調査するための大規模前向きコホート研究（HEXA 研究）において、追跡調査が完了しデータ欠損のない 39,868 人（男性 10,868 人、女性 29,000 人）を対象とした。過去 1 年間の飲酒量および頻度、顔面紅潮反応については、面接形式の質問票により回答を得た。参加者は 1 週間当たりのアルコール摂取量により、非飲酒者、適度な飲酒者（男性&lt;196g/週、女性&lt;98g/週）、過度飲酒者（男性≥196g/週、女性≥98g/週）に分類した。顔面紅潮反応は、少量のアルコール摂取後の赤面の有無によって 2 群に分類した。SBP/DBP が 120～139mmHg/80～89mmHg を前高血圧、140mmHg/90mmHg 以上を高血圧とした。Cox 比例ハザード回帰モデルを用いて、年齢、身体活動、BMI、喫煙状況および腰囲で調整後の飲酒後の顔面紅潮反応と高血圧リスクとの関連を検討した。</p> <p><b>結果：</b>男性において、顔面紅潮反応群、非顔面紅潮反応群ともに高血圧発症リスクは高まるが、適度な飲酒者の顔面紅潮反応群は、非顔面紅潮反応群と比較して高血圧発症リスクが相対的に低下した。一方女性では、飲酒量に関わらず、顔面紅潮反応群は非顔面紅潮反応群と比較して前高血圧、高血圧症ともにリスクが高く、重度の飲酒者において顔面紅潮反応群のリスクが高まること示された。</p> <p><b>結論：</b>顔面紅潮と高血圧との関連は、アルコール摂取レベルによって異なり、性差との関連も考慮する必要があることが示唆された。アルコール摂取量に基づく顔面紅潮反応と高血圧リスクの関係を解明し、リスクのある者に対する適切な摂取ガイドラインを示すことが求められる。</p>			